

事業評価個票（事業実施：令和2年度）

（様式2）

事業名	観光デジタルマーケティング推進事業費					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
部局名	観光文化スポーツ部						観光デジタルマーケティング研修・セミナー延べ参加人数	活動実績	人	43					
担当課名	観光復活戦略課							当初見込み	人	35	53				
事業開始年度	令和2年度		事業終了(予定)年度	令和4年度			活動実績								
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3] 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策3] 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化					成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標（所管部局の分析）		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	施策	[施策2] 戦略的な誘客促進						成果実績	件	162万件					
事業の目的	第2次おもてなし山形県観光計画に基づき、ICTを活用して、旅行者一人ひとりのニーズに合致した情報提供を行い、来訪者満足度を高め、観光客の増加と周遊・滞在の促進を図る。					山形県観光情報ポータルサイトアクセス件数	目標値	件	240万件	280万件	310万件				
事業概要	<p>1 ICTを活用した観光情報提供の充実 (1) 山形県観光情報ポータルサイト全面刷新 山形県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」を全面刷新し、スマートフォンに全面対応するとともに、繁体字、簡体字、英語、韓国語、タイ語の5言語で専用ページを作成し、国内のみならず、インバウンド向けにも魅力的で使いやすいサイトとすることで大幅なアクセス向上を図る。</p> <p>(2) デジタルプロモーション事業 動画を制作し、YouTubeを活用した広告配信を行う。合わせて、動画視聴から全面刷新した県観光情報ポータルサイトへアクセスの誘導を行い、本県への観光誘客の強化を図る。</p> <p>2 ICTを活用した情報分析、観光施策への活用 県観光情報ポータルサイトの閲覧データ等を活用した本県観光ニーズの分析及び市町村観光担当者等に対する研修を行い、分析結果の共有と活用の促進を図る。</p>						達成度	%	68%						
							成果実績								
							目標値								
						達成度	%								
活動指標及び成果指標設定の考え方															
第2次おもてなし山形県観光計画では、マーケティングに基づき施策を展開することとしており、ICTを活用したデジタルマーケティングの実践には相応の知識を習得する必要があることから「マーケティング研修・セミナーの参加人数」をアウトプットに設定した。デジタルマーケティングの実践により、本県観光情報サイトにおいて一人ひとりのニーズに合致した情報発信を行うこととしているため、サイトアクセス件数をアウトカムに設定した。															
事業所管部局による評価・検証（令和3年7月）															
項目										評価		評価に関する説明			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他（ ）					事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	A	サイトへのアクセス状況から県内外の閲覧者の時季ごとのニーズを把握し、その情報を県及び市町村、市町村観光協会等にも共有することで効果的な観光施策の展開を行う。将来的には県観光物産協会が地域連携DMOとしてこの役割を担えるよう研修の実施等を行っていく。							
	上記実施方法とする理由： 民間事業者のノウハウを活かし効果的に取組みを進めるため						支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	A	事業内容に応じて企画提案方式や競争入札により事業者の選定を行っている。						
当初予算額 (単位:千円)	費目 (予算見積書グループ名)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の効率性 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A	県が持つ市町村や市町村観光協会、観光事業者などとのネットワークを活用することで効果的に事業を実施できた。サイト全面刷新においては、旧サイトの資産も有効活用し構築を行った。						
	山形県観光情報ポータルサイト全面刷新	28,510	0												
	デジタルプロモーション事業 (R3～データ収集強化事業)	5,612	4,438												
	デジタルデータ分析事業	3,678	3,666												
財源内訳 (単位:千円)	山形ファンプロモーション事業		23,770				事業の有効性(達成度) 活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	A	新型コロナウイルスの感染拡大に伴いオンラインでのセミナー開催とした。市町村数と同じ人数の参加を見込んでいたが、観光事業者等の参加もあり、想定を上回る参加があった。						
	計	37,800	31,874	-	-	-									
	国庫支出金	18,899	15,937												
	県債														
課 題 ・ 改 善 点	その他特定財源						新型コロナウイルスの感染拡大による渡航制限や移動自粛などにより、観光需要が大幅に減少し、観光サイトのアクセス数も低迷した。今後は、ワクチン接種の加速による旅行需要の回復が見込まれるため、ポストコロナにおける旅行先として本県が選ばれるよう、デジタルマーケティングによる観光ニーズと誘客ターゲットの明確化やデジタルプロモーションの展開等により、認知度向上と旅行意欲の促進を図る。	C	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い渡航制限や県境をまたぐ移動自粛、不要不急の外出制限などにより観光需要が大幅に減少したため、サイトへのアクセス件数も目標値を大きく下回った。						
	一般財源	18,901	15,937												
	計	37,800	31,874	-	-	-									

(評価基準)  
A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80~99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)

# 観光デジタルマーケティング推進事業費【新規】

37,800千円

## 目的

○ 「第2次おもてなし山形県観光計画（仮称）」に基づき、旅マエ・旅ナカ等の各段階で、旅行者一人ひとりのニーズに沿った情報提供を充実し、利便性と満足度の大幅な向上により、観光誘客の更なる増加と周遊・滞在の促進を図るとともに、旅行者のアクセス情報をICTを活用して収集分析し、自治体、観光協会、観光事業者などの各主体が戦略的な施策展開ができる仕組みを構築するもの。

## 事業内容

1 山形県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の全面刷新 28,510千円

- ・スマートフォン全面対応
- ・観光情報の充実、リアルタイムの情報提供
- ・宿泊や交通、体験などの予約決済機能の追加
- ・外国人向け専用ページの充実



2 デジタルプロモーション事業 5,612千円

- ・魅力的な観光資源を伝える動画の配信
- ・デジタル広告により「やまがたへの旅」への閲覧を誘導
- ・外国人観光客向け災害時安全情報サイト周知ステッカー（QRコード記載）を宿泊施設等に配布

3 デジタルデータの収集・分析・活用事業 3,678千円

- ・ICTを活用し、サイトの閲覧情報や移動経路、消費行動情報等のビッグデータ調達
- ・「やまがたへの旅」及びSNSアクセスデータの収集
- ・上記データの分析に基づく施策展開への提案・評価
- ・自治体、観光協会、観光事業者のマーケティングスキル向上研修の実施 等

